

第1学年保護者各位

県立学校における端末の管理・運用について

令和4年5月27日

県立豊岡総合高等学校

1 本校のICT環境

Society5.0時代を生きる全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICTを効果的に活用することが不可欠です。新学習指導要領では、情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力に位置付けられるとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用した学習活動の充実を図ることが求められています。

兵庫県立学校では、令和4年度より新学習指導要領が年次進行で実施されるのに併せ、学校でも家庭でも自分の端末を用いた学習が自由に行えるよう、入学時に端末を用意していただき、教育活動に活用していくこととしています。1人1台の端末を用いた学習が推進できるよう、本校では、校内Wi-Fiや大型提示装置（プロジェクターや電子黒板）等の各種ICT環境を整備しています。

2 端末の管理・運用について

学校では、端末を校内Wi-Fiに接続し、教育用クラウドサービス（Office 365やGoogle Workspace等）やインターネットを用いて学習します。また、各家庭においても、端末を持ち帰って学習に利用することができます。

本校では、端末を使った学習が円滑に行えるよう、県が用意したMDM（Mobile Device Management）を利用します。

(1) 利用するMDM

- ・Microsoft社 Intune for Education

(2) MDMを利用する目的

- ・授業中に端末を円滑に利用できるよう、OSのアップデートのタイミングをコントロールする。
- ・校内Wi-Fiに接続できる端末等を制限し、安全に利用できる環境を保護する。
- ・端末の紛失・盗難時に、遠隔で端末の初期化や端末ロックを行い、個人情報の流出を防ぐ。

(3) 県・学校が収集する情報

MDMを利用することで、端末を管理するために必要な情報を収集します。以下の通り、個人の利用状況等の情報は収集しませんので、安心して利用してください。

県・学校が閲覧できる情報	県・学校が閲覧できない情報
<ul style="list-style-type: none">・端末のモデル（例：Dynabook K60）・端末の製造元（例：Dynabook）・OSとそのバージョン（例：Windows10）・アプリの情報（アプリ名、バージョン、サイズ等）・端末名・端末のシリアル番号	<ul style="list-style-type: none">・通話履歴、Web閲覧履歴・電子メール、テキストメッセージ・連絡先、予定表・パスワード・画像・位置情報 など